

社会科学学習指導案

平成28年11月24日(木)

I 単元 わたしたちの生活と工業生産②—自動車をつくる工業—

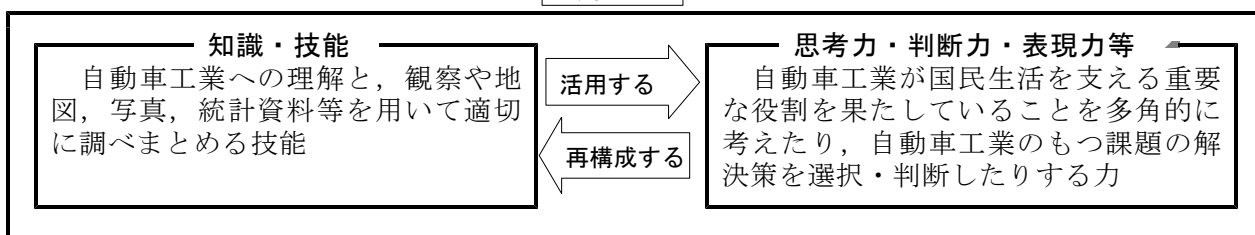
II 考察

1 教材観

(1) 育まれる主な資質・能力

学びに向かう力・人間性
自動車工業についてよりよい社会を考え課題を主体的に解決しようとする態度

涵養される



(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。
ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

(3) 教材や学習対象の価値

本小単元は、自動車工業に従事する人々の工夫や努力について具体的に調べ、それらが国民生活の向上に果たしている役割を考えたり、自動車工業のもつ課題の解決策を選択・判断したりして理解する学習である。その価値は以下のとおりである。

自動車工業は我が国の発展を支える基幹産業であり、関連業種を含めて全就労人口のおよそ9%を占める巨大産業である。自動車は一つの工場で生産するのではなく、大小さまざまな関連工場の協力によって生産される。また、利用者や社会のニーズに合わせた研究・開発が進められ、効率的な輸送や販売等の働きによって、国内・海外に出荷されている。これらの仕組みや従事する人々の工夫や努力を具体的に調べることで、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを多角的に考え、自動車工業に従事する人々が互いに力を合わせていることや、自動車生産を通して国民生活を支えていることを理解できる。

一方、ガソリン等を消費する自動車の利用は、国内の二酸化炭素排出原因の15%（2013年）を占めている。このことは持続可能な社会を目指す我が国にとって、解決すべき課題であり、その解決に向けて、官民を合わせた次世代自動車の開発と普及が進められている。子どもたちが、将来の利用者の一人としてこれらの取組への協力について自分なりの考えをもつことは、自動車工業への理解を深め、よりよい社会の形成に参画しようとする態度を育むことにつながる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「わたしたちの生活と工業生産③—工業生産を支える—」で、中小工場や運輸、貿易の働きを調べ、国民生活との関係を考えることを通して、それらが我が国の工業と国民生活を支える重要な役割をもっていることを理解する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「わたしたちの生活と工業生産①—工業生産と工業地域—」で、生活の中で利用されている様々な工業製品や、我が国の主な工業の種類、工業地帯や主な工業地域の分布を調べ、国民が日常の生活を営むために様々な工業製品を利用していることや、我が国全体の工業生産の特色を理解する学習に取り組んできた。

この学習や日常の観察において、明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

(1) 国民が生活を営むために様々な自動車を利用していることや、我が国の工業生産において自動車工業は有力な産業であることを理解している。このような子どもたちが、自動車工業の仕組みと従事している人々の工夫や努力を理解できるように、組み立て工場や関連工場、運輸、自動車開発、に従事している人々の具体的な工夫や努力を観点別に具体的に調べ、話し合う活動を設定する。

また、工業地帯や主な工業地域の分布について、地図や写真、統計資料等の各種基礎的資料を用いて調べることができている。このような子どもたちが、自動車工業に従事する人々の工夫や努力について、観察や地図、写真、統計資料等の各種基礎的資料を適切に組み合わせて調べることができるよう、自動車工場の現場学習を設定したり、調べたことを観点ごとに記述できる学習プリントを用意したりする。

(2) 主な工業の種類と工業地帯や主な工業地域の分布を関連付けて、我が国全体の工業生産の特色を多角的に考えられるようになってきている。このような子どもたちが、自動車工業に従事する人々の工夫や努力と国民生活等を関連付けて、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを多角的に考えられるように、自動車工業に従事する人々の工夫や努力と様々な国民生活との関係を整理する図を用意する。また、排出ガス問題について自分なりの社会への関わり方を選択することができるように、次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組のよさや問題点を話し合う活動を設定する。

(3) 生活の中で利用されている様々な工業製品や、我が国の主な工業生産の種類、工業地帯や主な工業地域の分布について、課題を主体的に追究する態度を養ってきた。このような子どもたちが、自動車工業について課題を主体的に追究し、将来の利用者の一人として持続可能な社会に向けた自動車利用のあり方を考えようとする態度を育むことができるように、自動車工業の学習の成果やこれから考えていくべき課題について話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画

※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

V 本時の学習

- 1 ねらい 自動車工業に従事する人々の工夫や努力のよさと国民生活とを関連付けて図に整理し、キャッチコピーづくりを通して、自動車工業が国民生活を支える役割を果たしていることを多角的に考える。
- 2 準備 自動車工業に従事する人々の工夫や努力と国民生活との関係を整理する図、短冊
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人が性能がよい様々な種類の自動車がつくるために様々な工夫をしていたな。 ・これまで学習してきた自動車づくりの工夫のよさをキャッチコピーにまとめるのだな。 <p>2 自動車工業に従事する人々の工夫や努力のよさを国民生活と関連付けて図に整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「電気自動車」には二酸化炭素を減らして、地球環境を守ることが国民の暮らしにとってのよさかな。 ・「ロボットを活用している」ことは、たくさん自動車を正確に作れるよさがあるけれど、国民生活とは結び付かないな。 ・なるほど、「ロボットを活用している」ことには、国民にとって性能の安定した自動車が生産できるというよさがあるな。 <p>3 図に整理した日本の自動車づくりのよさをキャッチコピーにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが当たり前に乗っている車に自動車を作る人も運ぶ人も協力していることがすごいと思ったから、キャッチコピーは「みんなで協力して暮らしを支える」自動車作りかな。 ・友達は、「性能のよい車をより安くする工夫のつまった」自動車作りや、「人々の暮らしを豊かにする」自動車作りにしたのだな。 ・どれもいいキャッチコピーだな。 <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしを支えてくれる自動車作りにたずさわっている人々に感謝して自動車を利用していきたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「日本の自動車づくりのよさをまとめて、キャッチコピーをつくろう」という学習の見通しをもてるように、これまで学習してきた自動車工業に従事する人々の工夫や努力、キャッチコピーにまとめるよさを問いかける。 ○自動車工業に従事する人々の工夫や努力が国民生活を支える役割を果たしていることを多角的に考えられるように、工夫や努力と国民生活との関係を整理する図を提示する。 ○自動車工業に従事する人々の工夫や努力のよさを記述できない子どもには、工夫や努力の効果と国民から見た効果のよさを助言する。 ○自動車工業に従事する人々の工夫や努力に関する理解を補い合うことができるように、工夫や努力のよさとその理由を小グループで伝え合うよう促す。 ○自動車工業に従事する人々の様々な工夫や努力が国民生活を支えていることをまとめられるように、キャッチコピーをつくり、その言葉を選んだ理由を記述するよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">評価項目</p> <p style="text-align: center;">キャッチコピーの理由について、自動車工業に従事する人々の努力や工夫を複数の視点から記述したり、発言したりしている。</p> <p style="text-align: center;">＜学習プリント・発言（２）＞</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○国民の一人として自動車工業に支えられていることを自覚できるように、自動車工業に従事する人々の努力や工夫のよさを踏まえたキャッチコピーを考えられたことを賞賛する。

指導と評価の計画（全13時間）

目標	自動車工業の仕組みや従事している人々の工夫や努力によって国民生活を支えられていることを理解し、持続可能な社会に向けた自動車利用のあり方を考える。			
評価規準	(1 知識・技能) 自動車工業の仕組みと従事する人々の工夫や努力を理解するとともに、観察や地図、写真、統計資料等の各種基礎的資料を用いて、仕組みと工夫や努力を調べまとめることができる。 (2 思考力・判断力・表現力等) 自動車工業について、課題や予想、学習計画を考えたり、自動車工業が国民生活を支える役割を果たしていることを多角的に考え、次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組を踏まえて10年後の自分が乗りたい車を考えたりして、表現している。 (3 学びに向かう力・人間性等) 自動車工業について課題を主体的に調べ、将来の利用者の一人として持続可能な社会に向けた自動車利用のあり方を考えようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
課題をつかむ	1	○資料を基に自動車工業に関わる疑問点や調べたいことを考え、課題意識をもつ。 学習問題 自動車づくりにたずさわっている人々は、大量の車を性能がよくつくるために、どのような工夫や努力をしているのだろう。	○自動車工業について疑問点や調べたいことを考えられるように、日本で生産されている自動車の台数や種類、自動車一台の部品の数などの資料を提示する。	◇資料や生活経験を基に、我が国の自動車工業の様子に関心をもち、疑問点や調べたいことを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>
	1	○我が国の自動車生産の工夫について予想し、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・自動車工場 ・運輸 ・自動車開発	○自動車生産の工夫について予想できるように、豊田市周辺の自動車工場の分地図や組み立て工場の様子、関連工場の様子、衝突実験の様子の写真などの資料を提示する。	◇既習経験や自動車産業に関する資料を基に、生産過程、研究開発について予想し、記述している。 <学習プリント(2)>
追究する	3	○自動車工場での調査・見学や図書資料、ウェブサイトなどを用いて調べる。 ※富士重工業工場見学(2時間)	○自動車工業に従事する人々の工夫や努力を具体的に記述できるように、観点ごとに自動車工業に従事する人々の工夫や努力を記述できる学習プリントを用意する。	◇自動車工業に従事する人々の工夫や努力について観点に沿って調べ、観点ごとに分類して記述している。 <学習プリント(1)>
	1	○調べたことを基に、組み立て工場と関連工場の生産の仕組みや従事する人々の工夫や努力を話し合う。	○自動車を効率よく大量に生産するためにたくさんの工夫や努力があることを理解できるように、組み立て工場と関連工場の生産工程の仕組みや作業の工夫を関係図に整理する。	◇自動車工業に従事する人々が、効率よく大量に自動車を生産する工夫や努力とそのよさを具体的に記述している。 <ノート(1)>
	1	○調べたことを基に、自動車の運輸に従事する人々の工夫や努力を話し合う。	○自動車の運輸に従事する人々が外国のニーズに合わせて大量の自動車を効率よく輸送し、現地生産していることを理解できるように、現地生産を行うよさや問題点を話し合う活動を設定する。	◇自動車の運輸や販売に従事する人々が、大量の自動車を効率よく運んだりニーズを聞き取ったりしていることとそのよさを具体的に記述している。 <ノート(1)>
	1	○調べたことを基に、自動車開発に従事する人々の工夫や努力を話し合う。	○環境・安全性能の向上を目指して自動車を開発していることを理解できるように、新しい技術を生み出す自動車開発の流れや多様な実験の写真資料を提示する。	◇自動車工業に従事する人々が、性能がよい自動車を開発していることとそのよさを具体的に記述している。 <ノート(1)>
	2	○「未来の自動車体験教室」に参加し、電気自動車の仕組みと環境性能を求める利用者や社会のニーズを知る。	○自動車工業に従事する人々が、環境への配慮や安全を求める利用者や社会のニーズに合わせて開発していることを理解できるように、自動車会社の方から話を聞く場を設定する。	◇利用者や社会のニーズに合わせて自動車の開発が行われていることとそのよさを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(1)>
まとめる・生かす	1	○自動車工業に従事する人々の工夫や努力と国民生活との関係を図に整理し、学習問題に対する自分の考えをまとめる。(本時)	○自動車工業が国民生活を支える役割を果たしていることを多角的に考えられるように、自動車工業に従事する人々の工夫や努力と国民生活との関係を整理する図を用意する。	◇自動車工業が国民生活を支えている理由を様々な人々の生活と関連付けて記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>
	1	○排出ガスを減らすための次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組を知り、10年後の自分が乗りたい車を考える。	○次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組を踏まえて10年後の自分が乗りたい車を選択・判断できるように、次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組のよさや問題点を話し合う活動を設定する。	◇排出ガスを減らすための次世代自動車の普及や利用促進に向けた取組を踏まえて、10年後の自分が自分の乗りたい車を記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言(2)>
	1	○本単元の学習を振り返る。	○将来の利用者の一人として持続可能な社会に向けた自動車利用のあり方を考えられるように、自動車工業の学習の成果やこれから考える必要を感じた課題について話し合う活動を設定する。	◇自動車工業を通して環境を保護することについてよさや国民全体で取り組むべき課題として記述している。 <学習プリント・発言(3)>